

企業連携で緑地保全を行う**“かわさき里山コラボ事業”**の**協定締結式**を行いました！

川崎市では、多様なステークホルダーによる里山保全活動の取組のひとつとして、企業等の参加協力をいただきながら、実践的な里山の保全管理を行う「かわさき里山コラボ事業」を推進しており、これまで市内の緑地 8 か所で企業や教育機関等と保全管理等に関する協定を締結しています。

この度、日本ミクニヤ株式会社（本社：川崎市中原区小杉町 1-403-35）と高津区の久末小貝谷（ひさすえこかいやと）特別緑地保全地区（約 1.1ha）の保全管理等に関する協定を本日締結しましたので、お知らせします。

<協定締結式>

- 1 締結日 令和8年1月28日（水） 15：20～15：35
- 2 場所 川崎市役所本庁舎 7 階 市長応接室
- 3 締結式出席者 川崎市 福田 紀彦 市長
日本ミクニヤ株式会社 徳岡 誠人 代表取締役

4 協定締結を受けた各代表者からのコメント

（1）川崎市 福田 紀彦 川崎市長

川崎市では、これまでに 8 件の「里山保全管理活動等に関する協定」が結ばれており、今回が 9 件目となりますが、この度、新たに久末小貝谷（ひさすえこかいやと）緑地において協定の締結に至ったこと、日本ミクニヤ株式会社様に感謝申し上げます。本日、締結しました協定を機に、久末小貝谷緑地で、日本ミクニヤ株式会社様と連携して豊かな自然環境を育み、多様な世代が好きになってくれる里山づくりを推進していきたいと考えております。

（2）日本ミクニヤ株式会社 徳岡 誠人 代表取締役

弊社は、防災・環境分野において、40 年にわたり全国各地のフィールドに向き合い、地域課題の解決を支援してきたコンサルティング企業です。本社・東京支店が所在する川崎市の地域課題にも目を向け、2 年前より「久末小貝谷特別緑地保全地」において、里山保全に資するプレ活動を継続的に実施しています。①地域密着・地域貢献、②社員の健康と福利、③持続可能な社会への責任の一環として、里山という貴重なフィールドを活かした地域住民との協働や社員研修等を通して、自然の恵みを将来世代に引き継いでいくことを目指します。

5 締結式の様子



左：徳岡代表取締役 右：福田市長



懇談の様子

- 6 協定の内容** 当該緑地の保全管理活動を実施し、当該土地の生物多様性の保全を図り、市民生活における良好な環境の確保に寄与する
- 7 両者の役割**
- | | |
|--------------|------------------------------------|
| (川崎市) | 計画的な里山管理作業の支援 活動の支援や技術的な指導 等 |
| (日本ミクニヤ株式会社) | 計画的な里山管理作業 社員等に向けた里山管理活動の企画実施 等 |

8 日本ミクニヤ株式会社の概要

事業概要：社会的に重要な DX 等の調査・解析・評価技術を取り入れながら防災と環境リスクに強いまち・組織づくりをサポートするコンサルティング会社

本社：川崎市中原区小杉町 1-403-35

設立：1985 年 10 月

従業員数：201 人（2025 年 9 月時点）

9 今回の協定締結による里山コラボの特徴

この度、防災・環境分野において、40 年にわたり全国各地のフィールドに向き合い、地域課題の解決を支援してきた、中原区小杉町に本社を構える環境系コンサルティング企業である日本ミクニヤ(株)が参画することになりました。

樹林から竹林までグラデーション的に分布している特性を生かし、明るさの濃淡をつけつつ、地域の生活道を明るく安全に整備することを意識した保全活動方針を掲げて活動していただきます。

環境系コンサル企業として特筆する点は、社員研修の場として実践的に活用されている点と、近隣の市立久末小学校と連携し子どもたちの自然体験機会の創出など地域交流に積極的な点があります。



久末小貝谷緑地の現状写真



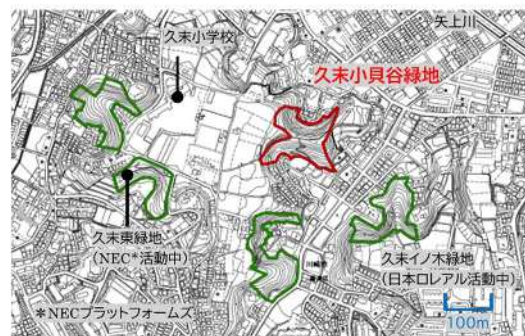
久末小貝谷緑地の谷戸環境

10 かわさき里山コラボ事業について

多様なステークホルダーに支えられた里山の保全の推進を目指すため、企業・教育機関等の参加協力をいただき、保全管理活動を主とした実践的な里山の保全管理を行う事業です。これまで 8 か所の緑地で、企業や教育機関等と協定を締結しています。

11 久末小貝谷特別緑地保全地区の概要

当緑地は高津区久末地区の緑地で、都市緑地法に基づき、良好な樹林地を未来へ継承することを目的として特別緑地保全地区に指定されています。



(出典：川崎市都市計画基本図、川崎市都市計画データ)

【問合せ先】

川崎市建設緑政局グリーンコミュニティ推進室 齋藤
電話：044-200-2400